

令和 7 年度
砂川市小中一貫教育推進計画

令和 7 年 4 月
砂川市教育委員会

目 次

策定にあたって	1
1 小中一貫教育の目的	2
2 砂川市が考える小中一貫教育	2
(1) 教育理念と目指す子ども像	4
(2) 小中一貫教育の基本的な教育方針	5
3 小中一貫教育の実践内容	6
(1) 指導区分の設定	
(2) 指導区分別重点内容	
砂川市小中一貫教育全体構想図	8
4 小中一貫教育推進の年次計画	9
5 令和7年度砂川市小中一貫教育推進の重点	10
【資料】	
砂川市が進める小中一貫教育の内容	11
砂川市立学校「学習スタンダード」(改訂版)	12
砂川市立学校「学習スタンダード」(保護者版改訂版)	15
市内統一「家庭学習チャレンジ週間」	19
砂川市小中学校「家庭学習の手引き」	21
砂川版「キャリア・パスポート」	25

策定にあたって

近年、情報化やグローバル化といった社会的変化が、人々の予測を超えて加速度的に進展する将来の予測が困難な時代となっています。

また、少子高齢化や核家族化の急速な進行などによる地域コミュニティの弱体化や家庭における教育力の低下など、子どもを取りまく環境が様々に変化しています。

このような中、国においては平成17年10月の中央教育審議会答申において、「義務教育を中心とする学校種間の連携・接続を改善するための仕組みについて、十分検討する必要がある」という趣旨の提言がされました。また、平成19年6月に改正された学校教育法においては、各学校段階の目的・目標規定が改められ、新たに義務教育9年間での目標が定められました。

この流れを引き継ぎ、平成27年6月に9年間の義務教育を一貫して行う新たな学校の種類である「義務教育学校」の設置を可能とする改正学校教育法が成立しました。平成28年4月1日には改正学校教育法が施行され、小中一貫教育が制度として全国的に開始しました。

平成31年4月には、文部科学大臣が中央教育審議会に対し、小・中・高校の教育のあり方について、小学校の教科担任制や小中一貫校の拡大を検討するよう諮問するなど、これからの小・中学校には大きな変化が求められています。

砂川市教育委員会においても、子どもたちにより良い環境、より質の高い学校教育を提供するためのあり方について検討していく必要があると考え、令和3年より、小中一貫教育の研究を本格的に始めました。また、少子化が進む本市においては市の将来を支える人づくりが急務であり、小中一貫教育などの特色ある学校教育を進めることは、最終的には地域コミュニティを形成し、共生社会をつくっていくことにつながると考えられます。そのため、令和4年4月に策定した「砂川市義務教育学校基本構想」を踏まえ、砂川市として小中一貫教育を実現するためにすべきことと、より発展的な小中一貫教育を行うための考え方を明らかにした「砂川市小中一貫教育推進計画」を令和5年4月に示したところであり、2か年をかけて小中一貫教育推進の重点を中心とした具体的な取組を推進してまいりました。

そしてこの度、これまでの取組の成果と課題を踏まえ、本格的に小中一貫教育を推進する下地が整ったとする砂川市小中一貫教育推進委員会の判断を受け、令和7年度から本市においては小中一貫教育を本格実施することといたしました。小中一貫教育の推進を通して、本市の子どもたちに未来を切り拓くために必要となる資質・能力を確実に育むとともに、令和8年度に開校予定の義務教育学校「砂川学園」における教育活動の充実につなげてまいります。

1 小中一貫教育の目的

子どもを取り巻く社会環境などの様々な変化は急激なものがあります。このような状況を背景に、砂川市教育委員会においても、子どもたちにより良い環境においてより質の高い学校教育を提供するため、小・中学校という義務教育のあり方について、根本から考えていかなければならない時期にきていると認識しています。特色ある学校教育を進めることは将来の砂川市を支える人づくりにもつながるものと考えています。

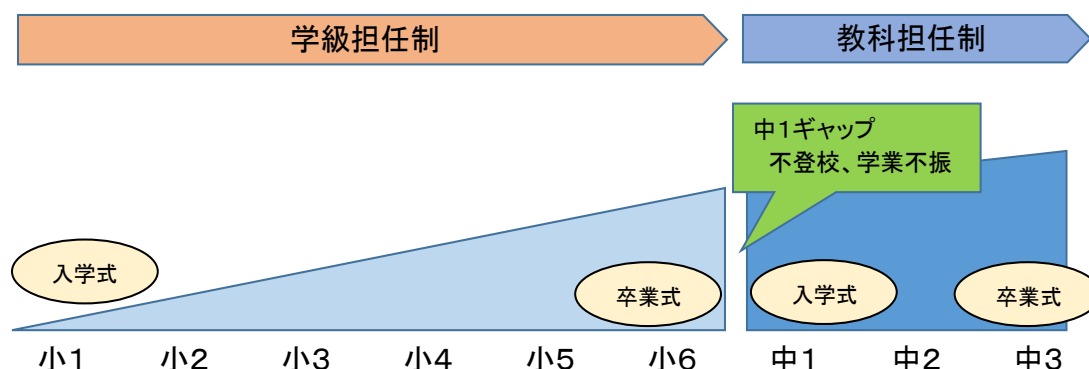
そこで、これからの小・中学校の教育のあり方を考える基本として、本市の小・中学校の現状と課題を踏まえ、ここ数年、道内でも取組が進められている「小中一貫教育」ひいては「義務教育学校」を導入することを決定しました。

9年間を見据え、子どもの発達の段階に応じたきめ細かい指導と、小学校と中学校が連携・協力して学習面や生活面での切れ目のない支援にあたり、本市では主に次のことを目指し取組を進めます。

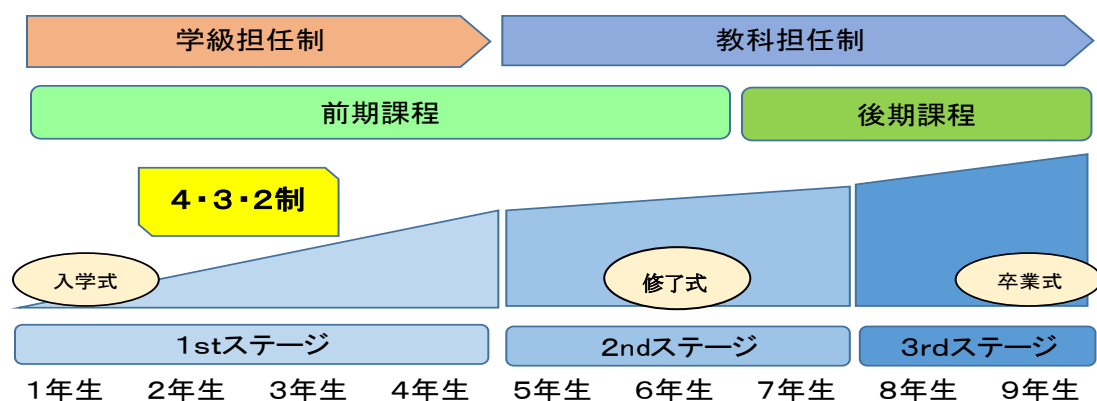
- (1) 主体的・対話的で深い学びを通して「生きる力」を育むための資質・能力を養います。
- (2) 9年間を見通したカリキュラムの編成による学習指導の改善から、児童生徒の学力の向上に努めます。
- (3) 小学校から中学校への接続を円滑にし、環境の変化により起こる、いわゆる「中1ギャップ」などの状況を解消します。
- (4) 様々な課題を抱える児童生徒に対し、9年間を見据えた切れ目のない指導・支援を行う生徒指導体制を充実させます。
- (5) 将来を見据えて砂川市を支える人づくりと共生社会をつくるための下地づくりに取り組みます。

2 砂川市が考える小中一貫教育

これまでの教育は、小・中学校間の連携はあったものの、中学校進学時の環境の変化や不安などが大きく、いわゆる「中1ギャップ」の段差を感じる生徒たちもいました。



小中一貫教育は9年間を見据え、小・中学校が一体となり学習面や生活面での指導や支援にあたり、心身の成長に著しい差異のある小学校においては、より子どもの発達の段階にあった指導・支援を行う工夫を取り入れることもできます。これにより、段差を感じていた児童は段差が緩和され、中学校に当たる学年での成長を促すきっかけにもなり得ます。



義務教育9年間を1stステージ（1年生～4年生）、2ndステージ（5年生～7年生）、3rdステージ（8年生～9年生）の3つのブロックを設ける背景は、心身の発達の時期と変化、学力形成の特質、生徒指導上の課題の3点が挙げられます。

心身の発達の時期と変化については、小学校高学年段階における児童の身体的発達は思春期の到来時期が早まっており、4・5年生の頃から身体的な発達が加速化し、それに伴って心の発達も促されていきます。5年生の頃になると思春期を迎え、自尊感情の著しい低下が起こるといわれており、自尊感情の低下は生活する上で意欲を欠くことにつながる傾向にあることから、4・5年生の頃に児童の発達上の段差がある可能性が高くなります。

一方、学力形成の特質については、1年生～4年生は具体的思考、4年生後半頃から具体物から抽象物へと思考の過程が変化して、論理的思考に興味を示すようになってきます。8年生頃になると、ある程度は頭の中で組み立てながら考えることもできるようになり、言語を巧みに使い論理的に解決していこうとすることが多くなります。また、様々な考えの中からよりよい答えを導き出し、自分はどうか考えたのか練り直して考えをまとめたりすることができるようになります。

さらに、生徒指導上の課題では、6－3制では中学校入学時に、小学校と中学校の違いなどで起こるギャップや教育環境の変化により、中学校生活になじめるまでに時間がかかります。そのため、問題行動の増加、不登校の発生率の増加、学習意欲の低下などが起こりやすくなる、いわゆる「中1ギャップ」といわれるものとなります。

また、様々な事案に関わる悩みは低年齢化しており、思春期の入り口となる身体の成長の変化が始まる小学校4年生や生活スタイルの変化の大きい中学校1年生は気持ちのコントロールがうまくできない時期といわれています。

このようなことから、義務教育9年間を3つのブロック（1stステージ、2ndステージ、3rdステージ）に分け、意図的に段差を小さくしたギャップを設定し、5年生からの教科担任制を徐々に取り入れ、学級担任制から教科担任制へのゆるやかな移行を図っていくことにより、ギャップをマイナスとして捉えるのではなく、あえて努力すれば手の届くギャップを設定し、それを乗り越えて「成功体験」を味わってもらうなど、ギャップをプラスに捉える発想の転換をします。また、今までは小学校6年生と中学校3年生がリーダーでしたが、ブロックごとの最上級生（1stステージの4年生、2ndステージの7年生、3rdステージの9年生）にリーダー

一としての自覚を促すとともに、児童生徒の成長が確認できる活動にも取り組みます。

義務教育9年間を3つのブロックに分け、9年間を見通した系統性・連続性のある小中一貫教育を行うことが、本市が進める小中一貫教育の考え方であり、1年生から9年生までの全ての児童生徒が、それぞれの段階に応じた指導を受けられる環境をつくるためには、次のようなことが重要であると考えています。

- 小・中学校におけるそれぞれの発達の段階に応じた「目指す子ども像」を小・中学校に関わる全ての人（教職員、保護者、地域の方々）が共有するとともに、小・中学校の9年間をひとまとまりと捉えた同じ教育目標（義務教育修了段階で身に付けさせたい力）を設定すること。
- 校種間の円滑な接続と連携が重視されていることから、小・中学校の学習指導要領の趣旨を十分に踏まえ、小学校1年生から中学校3年生まで連続的に成長する子どもの姿を見通しながら、9年間一貫した系統的な教育課程を編成すること。
- 学校生活の中で指導にあたる教職員が、義務教育9年間及びその前後にある幼児教育、高等学校教育における教育活動も理解し、教育実践に取り組むこと。

（１）教育理念と目指す子ども像及び育成を目指す資質・能力

一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められています。

そのため、揺るぎない教育理念のもと、義務教育学校の特性を生かすとともに、学校運営協議会の組織を活用するなどして、学校・家庭・地域の連携を深め、目指す児童生徒像に迫るための教育活動を推進します。

【教育理念】

児童生徒の豊かな心と 学ぶ力を育む教育の実現

生涯にわたって学び続け、豊かな人生を送ることができるよう、学びのための環境整備を進めるとともに、新たな未来を拓くため、地域と連携して子供たちの成長を支え、豊かな心や学ぶ力を育む教育の充実を図ります。

【目指す児童生徒像】

- 【確かな学力】 よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒
- 【豊かな人間性】 自他の命を大切にし、思いやりのある心豊かな児童生徒
- 【健やかな体】 健康で安全な生活を心がけ、自ら進んで運動に親しむ児童生徒
- 【郷土を愛する心】 ふるさと「砂川」に誇りをもつ児童生徒

【育成を目指す資質・能力】

【確かな学力】	主体性・粘り強さ・協働力
【豊かな人間性】	あいさつ・親切さ（思いやり）・コミュニケーション能力
【健やかな体】	基本的生活習慣・運動の楽しさの実感・危機回避力
【郷土を愛する心】	情報処理力・国際理解力・キャリア形成力

（２）小中一貫教育の基本的な教育方針

①よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒 【確かな学力】

- 各教科等における９年間を見通した一貫性のある指導方針と「４－３－２制」の各ステージにおける学習に関する児童生徒の姿をもとに、計画的・継続的な指導を通して、確かな学力を身に付けさせます。
- 教科等横断的な視点から９年間を見通した一貫した教育課程を編成し、学習指導要領で示された資質・能力の３つの柱をバランスよく育成します。
- 教科等の特質や児童生徒の実状を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を行います。
- 児童生徒一人一人が「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」等を授業の中で意識できるよう、課題の提示と振り返りを行う一貫した授業を行います。
- 前期課程の後半から段階的に一部の教科で担任以外の教員が指導する教科担任制を取り入れ、教科の専門性を生かした学習指導を行います。

②自他の命を大切にし、思いやりのある心豊かな児童生徒 【豊かな人間性】

- 児童会と生徒会が合同で活動することで、児童生徒の自主性や社会性等を育むなど、よりよい人間関係を構築します。
- 上級生が下級生に優しく、思いやりの心で接する場面や、下級生が上級生への憧れを膨らませるような場を設定し、心豊かな児童生徒を育成します。
- 異学年交流や地域貢献活動など、人との関りを大切にした多様な活動を進め、他者の個性を理解する力やコミュニケーション能力などを育成します。
- 各ステージの教育活動において、児童生徒一人一人の活動の場を保障し、自己肯定感や自己存在感を膨らませます。
- 各ステージの教育活動において、連帯感や仲間意識が醸成されるよう工夫するとともに、４年生、７年生、９年生では児童生徒の発達の段階に応じたリーダー性を育成します。

③健康で安全な生活を心がけ、自ら進んで運動に親しむ児童生徒 【健やかな体】

- 生徒指導や教育相談に関する９年間の記録を積み上げ、児童生徒一人一人に応じた適切な指導・支援を行い、心の安定感のある児童生徒を育成します。
- 体育科・保健体育科の授業を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進するとともに、運動やスポーツを楽しむとする意欲を育成します。

- 小中一貫教育の特色を生かした体育的行事などを通して、運動に対する興味や関心を高め、積極的に体力の向上を図ろうとする意欲や態度を育成します。
- 家庭や地域との連携の充実を図り、児童生徒の発達の段階を踏まえた基本的な生活習慣や食習慣の定着を図り、健康で安全な学校生活を送る児童生徒を育成します。
- 集団生活における安全を意識した規律ある行動について、児童会・生徒会が主体となった活動を通して、主体的に実践できる児童生徒を育成します。
- ５年生、６年生から部活動の体験を実施し、後期課程における部活動への円滑な接続を図るとともに、児童生徒の健やかな体を育成します。

④ふるさと「砂川」に誇りをもつ児童生徒 【郷土を愛する心】

- 家庭や地域、地元企業などと連携した体験学習を通して、ふるさとを大切にする心をもたせ、学びを地域に生かそうとする態度を育てます。
- コミュニティ・スクールを活用し、地域の人材や地元企業などの教育資源を活用した職場体験・職場訪問等を通して、児童生徒のキャリア実践力を育成します。

3 小中一貫教育の実践内容

(1) 指導区分の設定

学習指導要領の範囲内で、義務教育９年間を一貫したカリキュラムを軸として、地域の特色を活かした教育課程を編成します。

現行の義務教育制度である６・３制を維持しつつ、教職員が学びのくくりを認識し、前期課程から後期課程への接続に不安や戸惑いが生じないように工夫したり、現状５校の小学校間で指導の視点の連携を図ったりします。

本市では義務教育９年間で４・３・２制の３区分に分け、それぞれの時期で重点化する指導内容を明確にし、系統性を意識しながら指導に取り組みます。

(2) 指導区分別重点内容

○ １st ステージ（４年間：１年生～４年生）【基礎・基本の確実な定着】

繰り返し指導や補充指導等により、習熟を図ることを重視し、学習規律や基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ります。

○ ２ndステージ（３年間：５年生～７年生）【基礎・基本の徹底】

これまでの学習や生活で身に付けたことを活用することを重視し、論理的思考力や活用力の育成を図ります。また、５年生から一部教科担任制の実施、後期課程に向けての交流事業等を行い、後期課程の学習への円滑な移行を図り、後期課程の学習に対する不安の軽減を図ります。

○ ３rdステージ（２年間：８年生～９年生）【個性・能力の伸長】

様々な場面での発展的学習等により、自分の生き方を考えさせたり、これまで身に付けたことを発展させたりすることを重視し、自ら課題を見付け解決する力の育成を図ります。

砂川市小中一貫教育全体構想図

ねらい

義務教育9年間を一体的に捉え、指導の一貫性や学びの系統性を重視した教育活動を展開し、多様性を尊重する態度、互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、優しさや思いやりなど、子供たちの「生きる力」を育む

「生きる力」の育成

知：よりよく考え 未来を生きる力を 共に 学び続ける児童生徒
徳：豊かな心を持ち 共に 思いやる児童生徒
体：運動を楽しみ 共に 健やかな成長を目指す児童生徒

- 義務教育学校の特性を生かした特色ある教育活動
- いじめ、不登校、特別支援教育の一元的な体制の構築
- 幼・保・小・中・高等学校の一体的な連携
- 学校・家庭・地域が相互に連携した教育活動

教育理念

豊かな心と 学ぶ力を育む児童生徒の育成

目指す児童生徒像と育成を目指す資質・能力

- 【確かな学力】**よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒**
「主体性」・「粘り強さ」・「協働力」
- 【豊かな人間性】**自他の命を大切にし、思いやりのある心豊かな児童生徒**
「あいさつ」・「親切さ（思いやり）」・「コミュニケーション能力」
- 【健康やかな体】**健康で安全な生活を心がけ、自ら進んで運動に親しむ児童生徒**
「基本的生活習慣」・「運動の楽しさの実感」・「危機回避力」
- 【郷土を愛する心】**ふるさと「砂川」に誇りをもつ児童生徒**
「情報処理力」・「国際理解力」・「キャリア形成力」

具体的な取組

よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒

- 計画的・継続的な指導による確かな学力の定着
- 学習指導要領で示された資質・能力の3つの柱をバランスよく育成
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善
- 前期課程の後半から段階的に教科担任制を導入

自他の命を大切にし、思いやりのある心豊かな児童生徒

- 児童会と生徒会が合同で活動することで、児童生徒の自主性や社会性等を育成
- 異学年交流や地域貢献活動など、人との関りを大切にした多様な活動の充実
- 児童生徒一人一人の活動の場を保障し、自己肯定感や自己存在感を醸成
- 4年生、7年生、9年生における児童生徒の発達の段階に応じたリーダー性の育成

健康で安全な生活を心がけ、自ら進んで運動に親しむ児童生徒

- 生徒指導や教育相談に関する9年間の記録を積み上げ、心の安定感のある児童生徒を育成
- 生涯にわたって運動やスポーツを楽しもうとする意欲の育成
- 家庭や地域との連携の充実を図り、健康で安全な学校生活を送る児童生徒の育成

ふるさと「砂川」に誇りをもつ児童生徒

- 地域の人材や地元企業などの教育資源を活用した児童生徒のキャリア実践力の育成

4 小中一貫教育推進の年次計画

令和8年度の砂川学園の開校に向け、令和5年度～令和7年度の3か年において、全ての学校において共通して取り組む実践内容を整理するとともに、市内全校が統一した小中一貫教育の推進を通してスムーズな開校につなげていきます。

基礎学力の定着と学習習慣の向上、評価分析		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
○ 全国学力学習状況調査結果の公表 ○ 各学校の学力調査結果の分析及び学習指導の改善 ○ オンラインによる授業参観を通して、教職員が主体的に研修できる機会の設定 ○ 学習スタイルの統一（砂川スタンダード）による小中切れ目のない学習指導の実現 ○ 家庭学習の習慣の定着を目指す取組 ○ 義務教育9年間を見通した各教科学習内容系統表の作成・活用 ○ 小学校3年生から6年生における一部教科担任制を見据えた指導体制の構築及び実施 ○ 小中連携した外国語科授業の実施（令和6年度） ○ 9年間を見通した小学校（前期課程）1年生からの外国語科授業の実施		

砂川市GIGA スクール構想の推進		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
○ 一人一台端末の授業時及び自学自習時における活用 ○ 対面指導とオンライン教育とを最適に組み合わせた授業改善による学びの質の向上 ○ 一人一台端末の活用スキル系統表の作成・活用		

不登校等の生徒指導上の諸課題の減少と未然防止		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
○ 小中連携した児童・生徒の情報共有 ○ 小中一貫した教育相談体制整備による中1ギャップの減少 ○ スクリーニングを活用した組織的な児童生徒理解の促進と教育相談体制の確立 ○ 一人一台端末を活用した、不登校児童生徒へのオンラインによる学習支援の実施		

幼保・小中（6校）の連携		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
○ 児童会、生徒会が連携した交流事業の実施 ○ 中1不安解消を目的とした模擬授業体験、学校説明会等の取組 ○ 中学校教員の乗り入れ授業の実施 ○ 小中合同研修会の実施 ○ 幼・保・小のつながりを意識した特別な配慮を必要とする子どもの円滑な引継ぎ ○ スタートカリキュラムの共有による幼・保・小の円滑な接続		

ふるさと砂川を誇りに思う心の育成		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
○ 9年間を見通した「キャリア・パスポート」の運用・改善 ○ 9年間を貫く「総合的な学習の時間」のカリキュラム作成・一部運用 ○ 総合的な学習の時間における地域と連携した体験学習の実施（職業体験、職場見学、農業体験等）の実施 ○ コミュニティ・スクールや社会教育と連携した地域学校協働活動の推進 ○ デジタル社会を生き抜くICT活用スキルの育成		

防災教育や安全教育の充実		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
○ 火災、地震時の避難訓練の実施 ○ 不審者対応の避難訓練による危機管理意識の育成		

5 令和7年度砂川市小中一貫教育推進の重点

砂川市教育目標の基本理念「豊かな心と 学ぶ力を育むまち」を中心施策とし、「砂川市教育推進計画」及び「令和7年度砂川市教育実践方針」に基づき、次の事項を全て学校で共通して取り組むべき本年度の重点とします。

（1）基礎学力の定着と学習習慣の向上、評価分析

- 全国学力学習状況調査結果の公表
- 各学校の学力調査結果の分析及び学習指導の改善
- オンラインによる授業参観を通じた、教職員が主体的に研修できる機会の設定
- 学習スタイルの統一（砂川スタンダード）による小中切れ目のない学習指導の実現

※資料1・2参照

- 家庭学習の習慣の定着を目指す取組
(家庭学習チャレンジ週間の実践・家庭学習の手引き「学びのつながり」の活用)

※資料3・4参照

- 義務教育9年間を見通した各教科学習内容系統表の活用
- 小学校3年生から6年生における一部教科担任制の実施(外国語科・外国語活動)
- 9年間を見通した小学校（前期課程）1年生からの外国語科授業の実施

（2）砂川市GIGA スクール構想の推進

- 一人一台端末の授業時及び自学自習時における活用
(学習者用デジタル教科書・AIドリル教材等)
- 対面指導とオンライン教育とを最適に組み合わせた授業改善による学びの質の向上
- 一人一台端末の活用スキル系統表の活用

（3）不登校等の生徒指導上の諸課題の減少と未然防止

- 小中連携した児童・生徒の情報共有
- 小中一貫した教育相談体制整備による中1ギャップの減少

- 一人一台端末を活用した、不登校児童生徒へのオンラインによる学習支援の実施

(4) 幼保・小中(6校)の連携

- 小学校連携、小中連携の事業の実施
 - ・ 小学校5校交流会の実施(4年生・5年生・6年生で実施)
 - 6年生 11月28日(金)
 - 5年生 2月21日(金) 午後
 - 4年生 2月21日(金) 午前
 - ・ 小学校学年間交流日の設定
 - 3年生 2月28日(金)
 - 2年生 3月7日(金)
- 小学校5校合同遠足の実施(5年生・6年生で実施)
 - ※9月12日(金) 予備日(9月18日)
- 中学校教員の乗り入れ授業の実施
 - ・ 6年生での複数回実施
- スタートカリキュラムの共有による幼・保・小の円滑な接続

(5) ふるさと砂川を誇りに思う心の育成

- 9年間を見通した「キャリア・パスポート」の運用・改善
 - ※資料5・6・7参照
- デジタル社会を生き抜く ICT 活用スキルの育成

(6) その他

- 市内全校で統一した「育成を目指す資質・能力」の設定
- 学校・保護者間連絡アプリ「コドモン」の共通活用による市内統一したスムーズな情報発信と教職員の働き方改革の推進
- 義務教育9年間で培った「生きる力」を深化・発展させるための進学先について、幅広い視野をもって選択できる、市内高等学校・看護学校、地域の大学等との連携

今年度から砂川市の全ての小・中学校で、
「小中一貫教育」を本格的に導入・実施します!!

砂川市が進める小中一貫教育の内容

1

市内全校で統一した「育成を目指す資質・能力」を設定し、**全ての学校で4つの力を身に付けた子どもの育成を目指します!**

- ①自ら進んで学びに向かう「主体性」の育成
- ②周りの人と気持ちの良い「あいさつ」ができる子どもの育成
- ③「運動が楽しい」と感じる子どもの育成
- ④パソコンなどのICT機器を活用して、「情報を収集したり適切にまとめたりする力」の育成

校務のデジタル化を促進させ、保護者への**迅速な情報発信**と教職員の**働き方改革**を推進します!

- ①連絡アプリを活用した、保護者向けプリントの速やかな配信
- ②各種便りのデジタル版を連絡アプリの「資料室」に保存し、いつでもどこでも内容を確認できる環境の構築
- ③校務支援システムの掲示板機能の活用した打合せ等に係る時間短縮による授業研究や子どもと向き合う時間の確保



3

市内全校で**9年間を貫く系統的な学習指導**を実施し、子どもたちの学びを支えます!

2

- ①砂川市立学校「学習スタンダード」による小中一貫した学習指導の推進
- ②9年間の学習内容のつながりを踏まえた「学習系統表」を活用した実態把握と授業改善
- ③家庭と一体となって取り組む「家庭学習の手引き」を活用した自学自習の推進
- ④「家庭学習チャレンジ週間」実施を通した、小学校段階からの家庭学習習慣確立
- ⑤市内統一した「キャリア・パスポート」を活用した系統的なキャリア教育の推進
- ⑥専門性の高い教員が全小学校を巡回して行う「外国語科専科指導」の実施
- ⑦小学校1年生からの外国語教育の推進
- ⑧授業のオンライン配信による教職員の授業力向上を図る研修機会の充実
- ⑨ふるさと「すながわ」に誇りと愛着を抱くことができる体験的学習活動の充実
- ⑩小中一貫した特別支援教育の充実を図るインクルーシブ教育システムの実効化

【小中一貫教育】

小中一貫教育とは、小・中学校段階の教員が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成して系統性・連続性ある指導を目指す教育であり、本市では令和3年より、本格的に研究を開始しました。

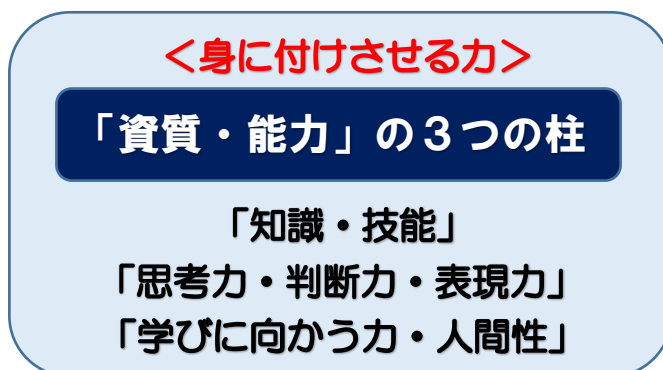
小中一貫教育の実現を通して、学習指導要領の着実な実施により義務教育の目的・目標を達成する観点から、小学校6年間、中学校3年間を分断するのではなく、義務教育9年間を一体的に捉え、指導の一貫性や学びの系統性を重視した教育活動を推進する義務教育を目指します。



砂川市「学習スタンダード」

1 はじめに

学習指導要領で示されている「3つの柱」



砂川市小中一貫教育「全体構造図」による目指す児童像

目指す児童生徒像【確かな学力】
よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒

2 学びの姿勢

(1) 学習のきまり

<授業前>

- ① 次の時間の準備をします。～教科書、ノート、筆記用具～机上整理→(2)
- ② 忘れ物をしたときは、休み時間のうちに先生に報告します。
- ③ チャイムが鳴り終わるまでに席に着きます。

<授業中>★正しい姿勢で座ります。

【聞く】

- ① 話す人を見ながら最後まで聞きます。
- ② 自分の考えと比べながら聞きます。
- ③ 聞き終わったら返事をします。
(同じです。いいです。他にあります。など)

【発表する】

- ① 名前を呼ばれたら相手に聞こえるように返事をします。
- ② みんなに聞こえる声の大きさと語尾まではっきり話します。
- ③ 順序よく、整理して伝えます。

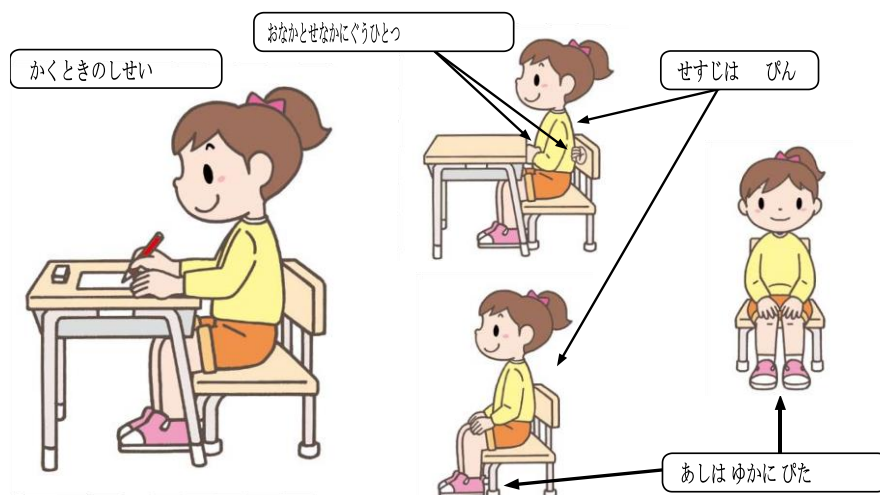
【書く】 ※「課題」は青、「まとめ」は赤

- ① 正しい姿勢で書きます。
- ② 正しい鉛筆の持ち方で書きます。
- ③ ていねいに字を書きます。



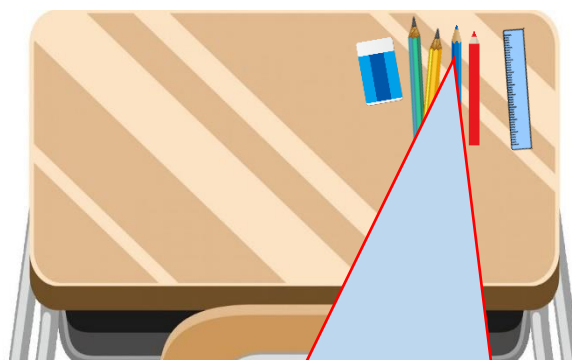
<授業後>★次の授業の準備をしてから、休み時間に入ります。

しせいの ものさし ぐう・ぴた・ぴん



(2) 机上の整理

鉛筆 シャープペンシル	1年 2B 2年 2B または B 3年～B または HB 7年～シャープペンシル可
色鉛筆 (青・赤)	1・2年は色鉛筆 3年～ボールペン可
消しゴム	四角いもの
15 cm定規	1年生から使用 折りたたみ式不可



(3) 筆入れに入れる物

- ①鉛筆5本程度 (シャープペンシル)
 - ②色鉛筆 (ボールペン)
 - ③消しゴム
 - ④定規 (15 cm)
 - ⑤油性ネームペン (2年生以上)
- ※その他、教科や授業によって必要なもの
・蛍光ペン、のり、コンパス 等

机の上には、学習に集中できるように余計な物は置かない。

基本的には、【鉛筆 (シャープペンシル)・消しゴム・色鉛筆またはボールペン (青と赤)・定規】とし、柄はシンプルなもの。

端から定規・鉛筆・消しゴムの順 (またはその逆) に置くと鉛筆を落とすことが少なくなる。「置く順序」や「縦向き・横向き」「位置」などは、状況に応じて対応する。

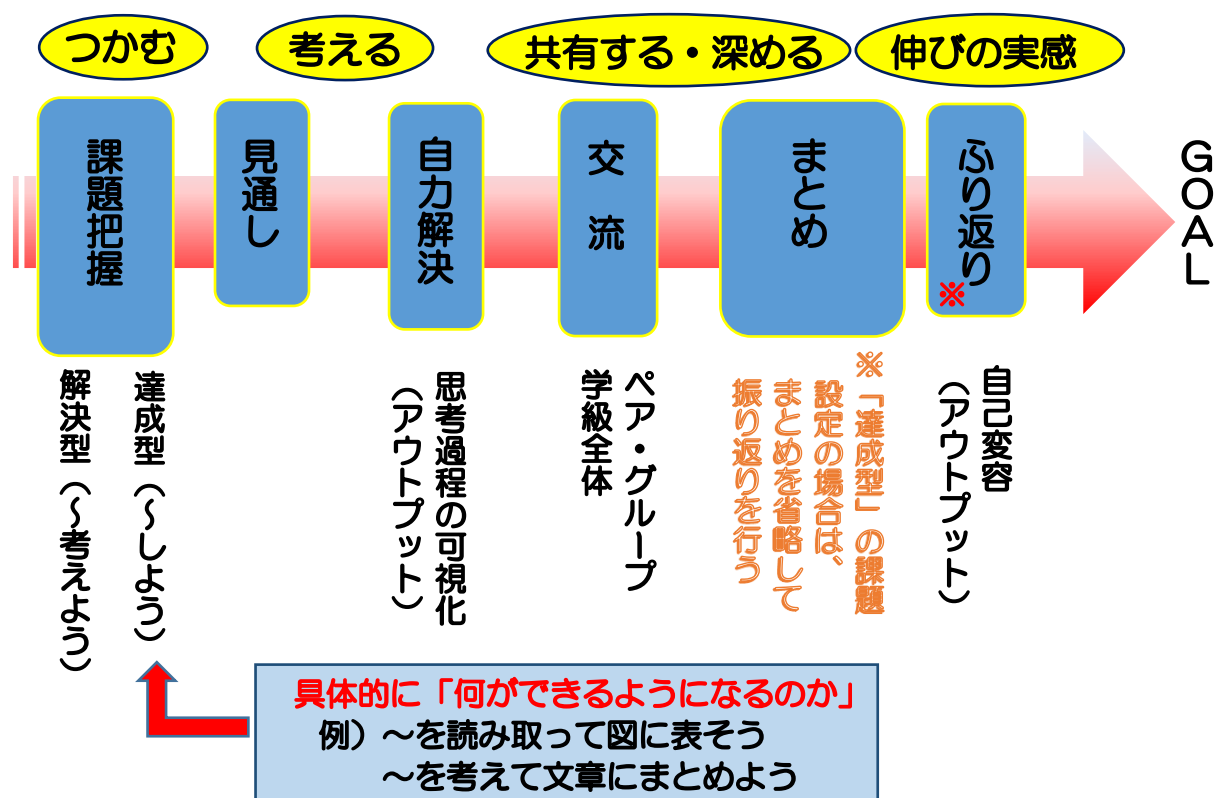
(4) 学習用ノート

学校では、ていねいな文字で学習内容をまとめるノート指導を充実させ、学力の定着を図るため、それぞれの教科で使用するノートを下表のとおりそろえます。

教科	1 年生	2 年生	3 年生	4・5・6 年生	7・8・9 年生
国語	8マス 十字リーダー入	15マス 十字リーダー入	18マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入	大学ノート
算数	7マス 十字リーダー入	14マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入		
社会					
理科					
その他	【必要に応じて】 連絡帳・自由帳				

3 授業の流れ

(1) 1 単位時間の授業展開



(2) 振り返り

子供自身に「振り返り」の意義を実感させ、授業を通して「振り返り」の習慣化を図る工夫、次時の授業への期待を高めることや家庭学習などへつなげることが必要です。

【「振り返り」の指導ポイント】

- ◆「振り返り」の目的を子供たちに伝えること。
- ◆「振り返り」の時間をしっかり確保し、習慣化すること。
- ◆「課題」と「振り返り」がつながるように、振り返る視点を児童生徒に示すこと。
- ◆「振り返り」につながる板書・ノートを工夫すること。

【振り返りの視点（例）】

習得	・学びの変容を振り返る	「〇〇が分かった。」「〇〇ができるようになった。」 【例】「登場人物の気持ちを読み取るには、その言葉や行動に着目すれば読み取れることが分かった。」
	・学びの過程や結果を振り返る	「〇〇することが分かった。」「〇〇することができるようになった。」 【例】「いくつかの資料を比較して読むことで、江戸時代の農民と武士の生活の様子が分かった。」
	・交流を振り返る	「〇〇な考え方もあるんだ。」「Aさんはなぜ、こう考えたのだろう。」（「問い」） 【例】「最初はAさんの考えに反対だったが、話し合いを通して、Aさんの考えが少し理解できるようになった。しかし、自分は〇〇なので～」 「（サーブは）上から打つ方が絶対いいと思っていたけれど、作戦タイムを通して、いろいろな打ち方を試してみようと思った。」
活用探究	・活用問題に取り組む ・他の単元・教科で活用する ・次につなげる	「〇〇でもできるかやってみよう。」「もっと〇〇について考えたい。」 「もし〇〇だったらどうかな。」（「問い」） 【例】「あさがおの育て方を勉強したので、今度は家でひまわりを育ててみたいと思いました。」 「お礼状の書き方を学んだので、職場体験でお世話になった職場の方にお礼状を書いてみたい。」

【保護者の皆様へ】

砂川市立学校「学習スタンダード」

1. はじめに

砂川市の学校では、市内統一した『学び方』（授業スタンダード）を設定し、どの学校でも同様の学びが進められることにより、6校が1校になった時の子どもたちの戸惑いを軽減させるとともに、市内全ての子どもたちに、学習指導要領で示されている3つの資質・能力を確実に身に付けさせ、「目指す児童生徒像」の実現に向けた小中一貫教育を推進します。

■■■■■■■■ 学習指導要領で示されている 「3つの柱」 ■■■■■■■■

＜すべての子供たちに身に付けさせる力＞

「資質・能力」の3つの柱

「知識・技能」

「思考力・判断力・表現力」

「学びに向かう力・人間性」

これまでの各教科等の「目標」「内容」の記述が、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の資質・能力の3つの柱で再整理されました。このことによって、学習を通して『何ができるようになるか』という「育成を目指す資質・能力」が明確になりました。

砂川市小中一貫教育「全体構造図」による目指す児童像

目指す児童生徒像【確かな学力】

よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒

2. 学びの約束

(1) 授業を受ける時の姿勢

背筋を伸ばして正しい姿勢を身に付けることには、「持続力」や「集中力」がつくなど、学習効率の向上につながる効果があります。



(2) 学習のきまり

<授業前>

- ① 次の時間の準備をします。～教科書、ノート、筆記用具 ⇒ (3) 机上の整理
- ② 忘れ物をしたときは、休み時間のうちに先生に報告します。
- ③ チャイムが鳴り終わるまでに席に着きます。

<授業中> ★正しい姿勢で座ります。

【聞<】

- ① 話す人を見ながら最後まで聞きます。
- ② 自分の考えと比べながら聞きます。
- ③ 聞き終わったら返事をします。(同じです。いいです。他にあります。など)

【発表する】

- ① 名前を呼ばれたら相手に聞こえるように返事をします。
- ② みんなに聞こえる声の大きさを語尾まではっきり話します。
- ③ 順序よく、整理して伝えます。

【書<】 ※「課題」は青、「まとめ」は赤

- ① 正しい鉛筆の持ち方で書きます。
- ② 正しい姿勢で書きます。
- ③ ていねいに字を書きます。



<授業後> ★次の授業の準備をしてから、休み時間に入ります。

えんぴつのもちかた

よいもちかた

ひとさしゆびと
おやゆびは
かさねないで、
たかさをそろえる

えんぴつは
HBかB、2Bをつかおう

えんぴつのじくは
おやゆびとひとさしゆびの
ねもとまでいかない

おやゆびは
かるくまげる

なかゆびとくすりゆびは
かるくまぐるめよう

こゆびはかるくまぐるめてかみにつける

★ご家庭でもお声掛けを!★

間違った持ち方が定着してしまうと、正しい持ち方に矯正するのは難しくなります。

「それなりに字が書けるなら、持ち方は関係ないのでは？」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、えんぴつを正しく持たないと、疲れやすかったり上手に書けなかったりしてしまい、その結果、長く学習を続けられない、姿勢が悪い、集中力や勉強への意欲低下につながるなど、学力低下の要因になることもあります。

(3) 机上の整理

鉛筆 シャープペンシル	1年 2B 2年 2B または B 3年～ B または HB 7年～ シャープペンシル
色鉛筆 (青・赤)	1・2年は色鉛筆 3年～ ボールペン可
消しゴム	四角いもの
15 cm定規	1年生から使います 折りたたみ式は不可です



学習に集中できるように余計な物は置かず、「鉛筆 (シャープペンシル)・消しゴム・色鉛筆 (ボールペン 青と赤)・定規」を基本とし、柄はシンプルなものを推奨します。

(4) 筆入れに入れる物 ★お願いします★

- 鉛筆5本程度 (シャープペンシル)
- 色鉛筆 (ボールペン)
- 消しゴム
- 定規 (15 cm)
- 油性ネームペン (2年生以上)

※その他、教科や授業によって必要なもの
・蛍光ペン、のり、コンパス 等



分度器や定規は、目盛りの読みやすさの観点から、イラストのない透明でシンプルなものを用意してください。

(5) 学習用ノート

学校では、ていねいな文字で学習内容をまとめるノート指導を充実させ、学力の定着を図るため、それぞれの教科で使用するノートを下表のとおりそろえます。

教科	1 年生	2 年生	3 年生	4・5・6 年生	7・8・9 年生
国語	8マス 十字リーダー入	15マス 十字リーダー入	18マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入	大学ノート
算数	7マス 十字リーダー入	14マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入		
社会					
理科					
その他	【必要に応じて】 連絡帳・自由帳				

(6) 学校に置いてよい物

学校では、子どもたちの道具の持ち運びに係る負担を軽減させるため、右の物を学校に置いてよいこととします。

★持ち物への記名を忘れずに！★



○教科書

(書写・生活・図工美術・音楽・道徳・技術家庭・保健体育)

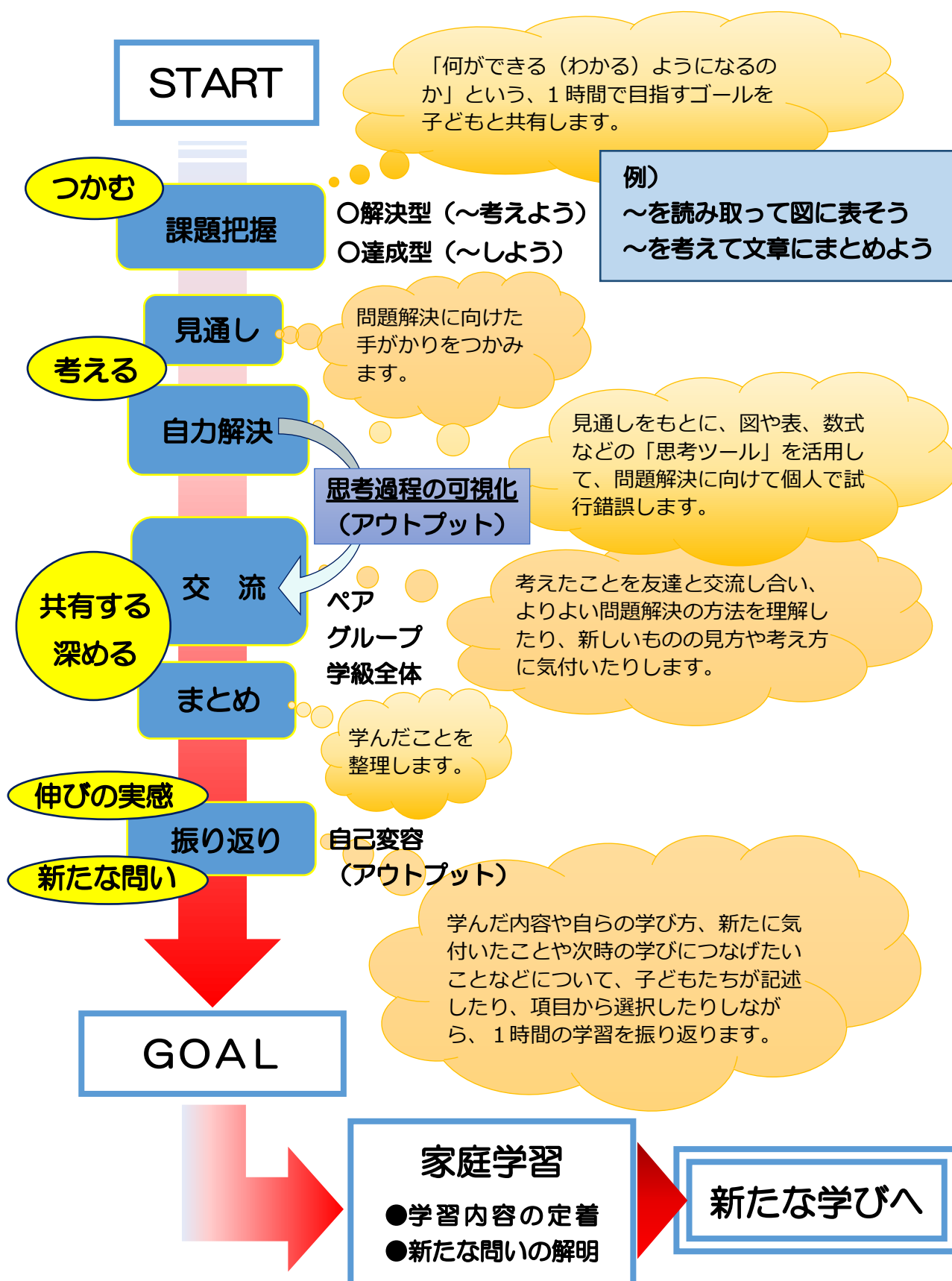
○リコーダー ○鍵盤ハーモニカ ○習字セット ○裁縫セット

○お道具袋 ○絵の具セット ○紅白帽子 ○とびなわ



3. 授業の流れ

砂川市内の学校では、各教科の1単位時間の授業について、以下のような流れを基本として行い、子どもたちの学びの力を高めます。



家庭学習・生活 記録シート 1. 2. 3年生用



すながわしりつ
砂川市立【

しょうがっこう
】小学校

ねん
年

くみ
組

ばん
番

なまえ
名前

<じかんのもくひょう>

・1年生：20ぷん ・2年生：30ぷん ・3年生：40ぷん

<じぶんのもくひょう>

なんがつ なんにち なんようび	おきたじこく	ねたじこく	べんきょうした じかん	べんきょうしたこと
月 日 (木)	じ ぶん	じ ぶん	ぶんかん	☐ ふくしゅう ☐ よしゅう ☐ しゅくだい ☐ どくしょ ☐ タブレットやドリルなど ☐ それいがいのべんきょう
月 日 (金)	じ ぶん	じ ぶん	ぶんかん	☐ ふくしゅう ☐ よしゅう ☐ しゅくだい ☐ どくしょ ☐ タブレットやドリルなど ☐ それいがいのべんきょう
月 日 (土)	じ ぶん	じ ぶん	ぶんかん	☐ ふくしゅう ☐ よしゅう ☐ しゅくだい ☐ どくしょ ☐ タブレットやドリルなど ☐ それいがいのべんきょう
月 日 (日)	じ ぶん	じ ぶん	ぶんかん	☐ ふくしゅう ☐ よしゅう ☐ しゅくだい ☐ どくしょ ☐ タブレットやドリルなど ☐ それいがいのべんきょう
月 日 (月)	じ ぶん	じ ぶん	ぶんかん	☐ ふくしゅう ☐ よしゅう ☐ しゅくだい ☐ どくしょ ☐ タブレットやドリルなど ☐ それいがいのべんきょう
月 日 (火)	じ ぶん	じ ぶん	ぶんかん	☐ ふくしゅう ☐ よしゅう ☐ しゅくだい ☐ どくしょ ☐ タブレットやドリルなど ☐ それいがいのべんきょう
月 日 (水)	じ ぶん	じ ぶん	ぶんかん	☐ ふくしゅう ☐ よしゅう ☐ しゅくだい ☐ どくしょ ☐ タブレットやドリルなど ☐ それいがいのべんきょう

<1しゅうかんのふりかえり>



<おうちの人から> (お子さんへの励ましの
言葉や学習へのアドバイスをご記入ください)

家庭学習・生活 記録シート 4. 5. 6年生用



砂川市立【 】小学校

年 組 番 名前

＜各学年の学習時間の目標＞

・4年生：50分 ・5年生：60分 ・6年生：70分

＜1週間の個人の目標＞

月・日・曜日	起きた時刻	寝た時刻	学習した時間	学習した内容
月 日 (木)	時 分	時 分	分間	☐ 今日の授業の復習 ☐ 明日の授業の予習 ☐ タブレットや問題集など ☐ 宿題 ☐ 読書 ☐ その他
月 日 (金)	時 分	時 分	分間	☐ 今日の授業の復習 ☐ 明日の授業の予習 ☐ タブレットや問題集など ☐ 宿題 ☐ 読書 ☐ その他
月 日 (土)	時 分	時 分	分間	☐ 今日の授業の復習 ☐ 明日の授業の予習 ☐ タブレットや問題集など ☐ 宿題 ☐ 読書 ☐ その他
月 日 (日)	時 分	時 分	分間	☐ 今日の授業の復習 ☐ 明日の授業の予習 ☐ タブレットや問題集など ☐ 宿題 ☐ 読書 ☐ その他
月 日 (月)	時 分	時 分	分間	☐ 今日の授業の復習 ☐ 明日の授業の予習 ☐ タブレットや問題集など ☐ 宿題 ☐ 読書 ☐ その他
月 日 (火)	時 分	時 分	分間	☐ 今日の授業の復習 ☐ 明日の授業の予習 ☐ タブレットや問題集など ☐ 宿題 ☐ 読書 ☐ その他
月 日 (水)	時 分	時 分	分間	☐ 今日の授業の復習 ☐ 明日の授業の予習 ☐ タブレットや問題集など ☐ 宿題 ☐ 読書 ☐ その他

＜1週間の振り返り＞



＜家庭から一言＞(お子さんへの励ましの言葉
や学習へのアドバイスをご記入ください)



まなびのつながり

～砂川市の子どもたちの学ぶ力の向上に向けて～

家庭学習の習慣化は、子どもの学ぶ力を高める大切な要素です。
理解の状況を把握し、学習環境を整えることが大切です。

- 義務教育 9 年間の家庭学習のポイントと保護者の関わり
- 義務教育 9 年間を通した家庭学習の在り方イメージ
- 家庭学習の習慣化を図る家庭での環境づくり
- ネットトラブルから子どもを守る家庭でのルールづくり



砂川小学校

すじ道をたてて考える子/力を含ませて動く子/すすんで体をきたえる子



豊沼小学校

美しい心 丈夫な体



中央小学校

かしこく なかよく つよく



空知太小学校

よく考え、学び、発表する子/心豊かに、たくましく生きる子/明るく、健康な子



北光小学校

よく考え 進んで学ぶ子/思いやりのある子/たくましく 元気な子



砂川中学校

進取 調和 躍動

- 21 -

砂川市小中一貫教育推進委員会・砂川市 PTA 連合会
砂川小 PTA・豊沼小 PTA・中央小 PTA・空知太小 PTA・北光小 PTA・砂川中 PTA

9年間で取り組む家庭学習【国語・算数（数学）】 ～ 家庭学習のポイントと保護者の関わり ～

時間（目安）	国語（例）	算数（例）	他の教科等（例）	保護者の関わり（例）
1年生 20分 程度	- ひらがな練習 - カタカナ練習 - 漢字練習 - 音読 - 教科書の書き写し - 絵日記 - 想像したことや手紙を書く	- 計算練習 （1桁の数の＋、－） - 問題を図で表す - 形づくり - 大きさ比べ 	- 鍵盤ハーモニカの練習 - 草や花の絵を描く - 虫の名前を調べる - 観察日記を書く ※タブレット端末を活用して学習する	一緒に学習 ↓ やる気を 出させる - 手助けしながら、一緒に学習しましょう - できたところはたくさん褒めましょう - 学校からの連絡やお便りを一緒に確かめましょう
2年生 30分 程度	- 漢字練習 - 音読 - 教科書の書き写し - 絵日記や手紙を書く - 読書の感想を家族にお話する	- 計算練習 （2桁の＋、－ かけ算九九 等） - 問題を図に表す 100升計算等 - 長さ比べ - 時刻、時間調べ		- できたところはたくさん褒めましょう - 学校からの連絡やお便りを一緒に確かめましょう
3年生 40分 程度	- 漢字練習 - 段落分け - 音読 - 日記、作文 - 読書の感想を書く - 国語辞典を使った意味調べ - ローマ字練習	- 計算、文章問題練習 （3桁の数の＋、－等） - 分数の計算（＋、－） - 問題を図で表す 100升計算等 - 長さ、重さ調べ - コンパスの使い方 - 図形を描く 	- リコーダーの練習 - 理科や社会の学習をとおして興味や疑問をもったことを、本やタブレット端末、図書館や郷土資料室などで調べる - 調べた結果を図や表に整理し、結果を比較してまとめる - プリントの学習とノートを使った学習を併用する ※タブレット端末を活用して学習する	認めて褒める ↓ 自信がつく やる気が出る - わかるところは自分で、わからないところは一緒に考えましょう - 取り組んだことを褒めて、認めて、励まし、自信をつけさせましょう - 国語辞典や地図を使う習慣を徐々につけていきましょう
4年生 50分 程度	- 漢字練習 - 段落分け - 音読 - 読書の感想を書く - 国語辞典を使った意味調べ - ローマ字練習	- 計算、文章問題練習 （小数・分数の＋、－等） - 問題を図で表す - 正方形等の面積を公式で求める - 多角形の角度調べ - 立方体、直方体の見取図や展開図を描く	プリントの学習とノートを使った学習を併用する ※タブレット端末を活用して学習する	

時間(目安)	国語(例)	算数(例)	他の教科等(例)	保護者の関わり(例)
5年生 60分 程度	- 漢字練習 - 音読 - 辞典の活用 - 古文、漢文の音読 - 漢字調べ - 熟語の意味調べ - 伝記を読んで自分の生き方を考え、感想文に書く	- 計算、文章問題練習(小数・分数の割算) - 問題づくり - 問題を図で表す - 三角形や平行四辺形の面積、直方体の体積を公式で求める - 速さ、時間、道のりを公式で求める - 見取図や展開図を描く	- 理科や社会の単元テストで間違った問題を、教科書やノートで確認しながら解き直す - 興味や疑問に思ったことを本やタブレット端末、図書館、郷土資料室などで調べ、図や表で整理し、結果を比較してまとめる - 家族と簡単な英語で会話をする ※タブレット端末を活用して学習する 	見守って ↓ 伸ばす - 基本的な生活習慣を見直させましょう - 宿題、授業の復習を中心に、計画を立て学習を進められるよう見守りましょう - 将来の夢について、話し合ってみましょう
6年生 70分 程度	- 漢字練習 - 音読 - 辞典の活用 - 古文、漢文の音読 - 熟語の意味調べ - 新聞を読む - 本の推薦文を書く	- 計算、文章題練習(分数・小数の四則計算) - 問題づくり - 問題を図で表す - 円の面積、円柱の体積を公式で求める - 対称な図形を描く	家族と簡単な英語で会話をする ※タブレット端末を活用して学習する 	見守って ↓ 伸ばす - 基本的な生活習慣を見直させましょう - 宿題、授業の復習を中心に、計画を立て学習を進められるよう見守りましょう - 将来の夢について、話し合ってみましょう
中学1年生 80分 程度	★国語(例)  【予習】＜教科書を読む＞ - 教科書を音読する - 新しい漢字や熟語などを調べる - 古文や漢文をスラスラと読めるまで練習する - 小説、説明文などの大まかな内容をつかむ 【復習】＜教科書を読みながら、ワークの問題を解く＞ 「60字以内で書きなさい」等、記述式の問題になれる - 新しい漢字や文法問題を繰り返し解いて練習する ★数学(例)  【予習】＜教科書の説明や例題を読み、解き方を理解する＞ - 関係している既習の計算方法や公式などを確認する - 新しい計算方法や公式を活用して、例題を解く 【復習】＜教科書の問いやワークの問題を解く＞ - 簡単な文字式の計算や方程式などは確実に解く - 解けなかった問題は、何度も繰り返し解く			子供と一緒に考える ↓ 自分を見つめさせ、学習方法や進路、将来の目標を明確にさせる 
中学2年生 90分 程度	★国語(例)  【予習】＜教科書を読む＞ - 教科書を音読する - 新しい漢字や熟語などを調べる - 古文や漢文をスラスラと読めるまで練習する - 小説、説明文などの大まかな内容をつかむ 【復習】＜教科書を読みながら、ワークの問題を解く＞ 「60字以内で書きなさい」等、記述式の問題になれる - 新しい漢字や文法問題を繰り返し解いて練習する ★数学(例)  【予習】＜教科書の説明や例題を読み、解き方を理解する＞ - 関係している既習の計算方法や公式などを確認する - 新しい計算方法や公式を活用して、例題を解く 【復習】＜教科書の問いやワークの問題を解く＞ - 簡単な文字式の計算や方程式などは確実に解く - 解けなかった問題は、何度も繰り返し解く			子供と一緒に考える ↓ 自分を見つめさせ、学習方法や進路、将来の目標を明確にさせる 
中学3年生 100分 程度	★国語(例)  【予習】＜教科書を読む＞ - 教科書を音読する - 新しい漢字や熟語などを調べる - 古文や漢文をスラスラと読めるまで練習する - 小説、説明文などの大まかな内容をつかむ 【復習】＜教科書を読みながら、ワークの問題を解く＞ 「60字以内で書きなさい」等、記述式の問題になれる - 新しい漢字や文法問題を繰り返し解いて練習する ★数学(例)  【予習】＜教科書の説明や例題を読み、解き方を理解する＞ - 関係している既習の計算方法や公式などを確認する - 新しい計算方法や公式を活用して、例題を解く 【復習】＜教科書の問いやワークの問題を解く＞ - 簡単な文字式の計算や方程式などは確実に解く - 解けなかった問題は、何度も繰り返し解く			子供と一緒に考える ↓ 自分を見つめさせ、学習方法や進路、将来の目標を明確にさせる 
	＜9年間を通した家庭学習の取組について＞ - 家庭学習は毎日取り組む(国・社・数・理・英を中心に) - 家庭ノートや学習ワーク、塾の宿題等取り組んだものを週1回以上学級担任や教科担任の先生へ提出する(提出方法は、各先生方から示されます) ※タブレット端末を持ち帰った時には予習や復習に活用するのも効果的です ＜予習の仕方＞ - 学習する教科の教科書に目をとおす - 辞書や参考書等で意味などを調べる - 例題などに取り組む ＜復習の仕方＞ - ノートを見ながら、問題を解く - ワークで練習する 			- 保護者の方の職業選択のきっかけや職業観について、話し合う機会をもちましょう - 進路の具体的な目標を明確にして、目標達成のために、何を必要とするのかを、一緒に考えましょう

義務教育9年間を通じた家庭学習の在り方イメージ

1・2年

「しゅくだい」を中心に

- ・「学校で勉強したこと」をおぼえているかな？ しゅくだいでふくしゅうしよう！
- ・ていねいに、せいかくに、できるようになろう！

3・4年

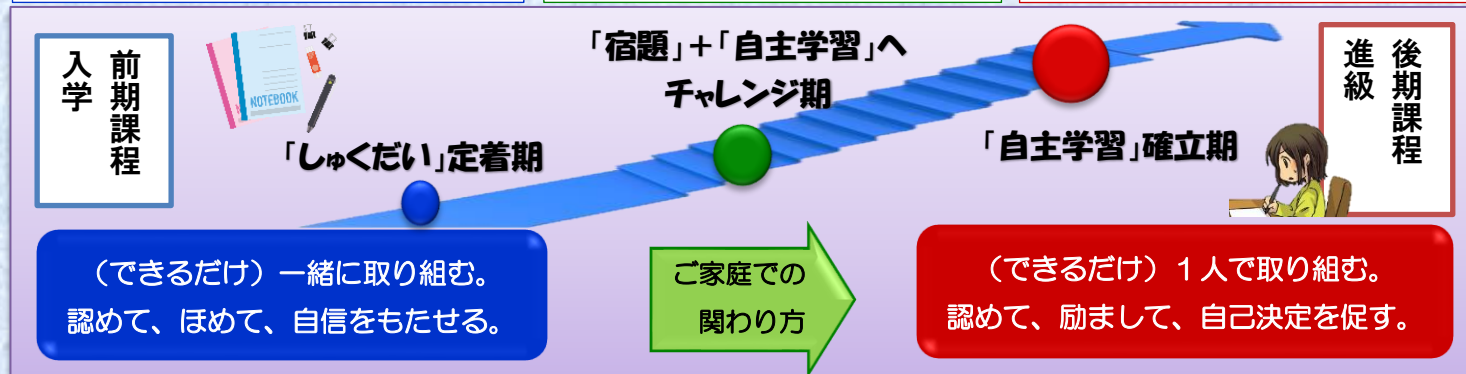
「宿題」+「自主学习」にチャレンジ！

- ・宿題はできるだけ同じ時間帯に取り組もう！
- ・ていねいに、正かくに、スピードをもっとできるようになろう！

5年～

自分で課題を見つけて「自主学习」を中心に

- ・その日の復習や予習はもちろん、自分を高める学習に取り組もう！
- ・授業のノートと同じように「課題」や「まとめ」「振り返り」も書こう！



家庭学習の習慣化を図るご家庭での環境づくり

○体をつくる

- ・ぐっすり睡眠
- ・しっかり朝食
- ・適度の運動



○学ぶ雰囲気をつくる

- ・落ち着いた環境で学習できるように周りの環境を整えましょう
- ・はじめる時刻や場所を決めましょう
- ・テレビやゲーム等の時間は「My 家庭ルール」を決めましょう

○やる気をつくる

- ・「～しなさい」から「～してみよう」など、提案型の声かけを心がけ、励ましや承認を通して「やる気」を引き出しましょう

○安心感をつくる

- ・会話の時間を増やす
- ・体験する機会を増やす
- ・家族で読書に親しむ



子どもたちをネットトラブルから守るために ～何を目的に所有するのか話し合ってみて下さい～

スマートフォン等の所有について子どもから相談を受けた場合は、周囲の所有状況等からのみで判断せず、発達段階や日常生活の様子から、「ルールを守った使用ができること」、「必要性があること」などについて総合的に判断することが大切です。

また、保護者が「持たせる」と判断した場合、「スマートフォン等は、保護者名義で契約し、子どもに貸し与えている。」という認識をもつことが重要です。さらに、スマートフォン等を与える前には、利用目的やマナーについて話し合い、危険性も十分に理解させた上で、保護者は利用状況等を適切に把握し管理することも必要です。

なお、ネットトラブルは想像を超える速さで深刻化します。不安な時は、速やかに警察・学校・教育委員会等に相談してください。

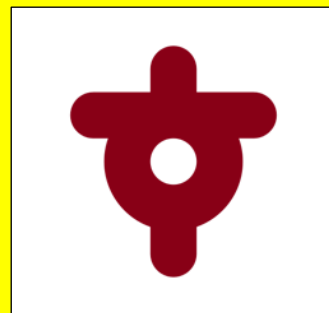


【家庭のルール（例）】 ～ 発達段階に応じたルールづくりをしましょう！ ～

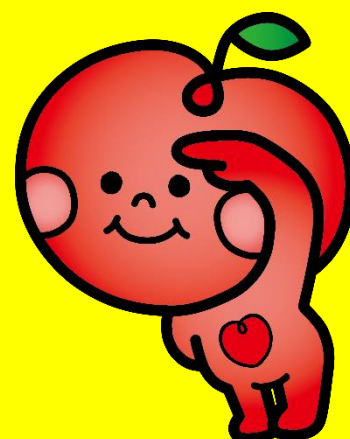
- | | |
|--|-----------------------|
| ○ フィルタリングを設定する
（解除する場合は、発達段階に応じて段階的に行う） | ○ 知らない人とメール等のやりとりはしない |
| ○ 他人のパスワードやIDを勝手に使わない | ○ 個人が特定できる情報や写真は載せない |
| ○ 課金やダウンロードは保護者に確認する | ○ 通信ゲーム等を全く使用しない日を決める |
| | ○ ルールを守れないなら利用を停止する |

＜相談先＞ 砂川市教育委員会 54-2121 滝川警察署 24-0110 北海道岩見沢児童相談所 0126-22-1119
子ども相談支援センター 0120-3882-56 (24 時間) 24 時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310 (24 時間)

砂川版 「キャリア・パスポート」



令和6年4月1日
砂川市教育委員会



SUNAGAWA
MIMAMORINGO

はじめに

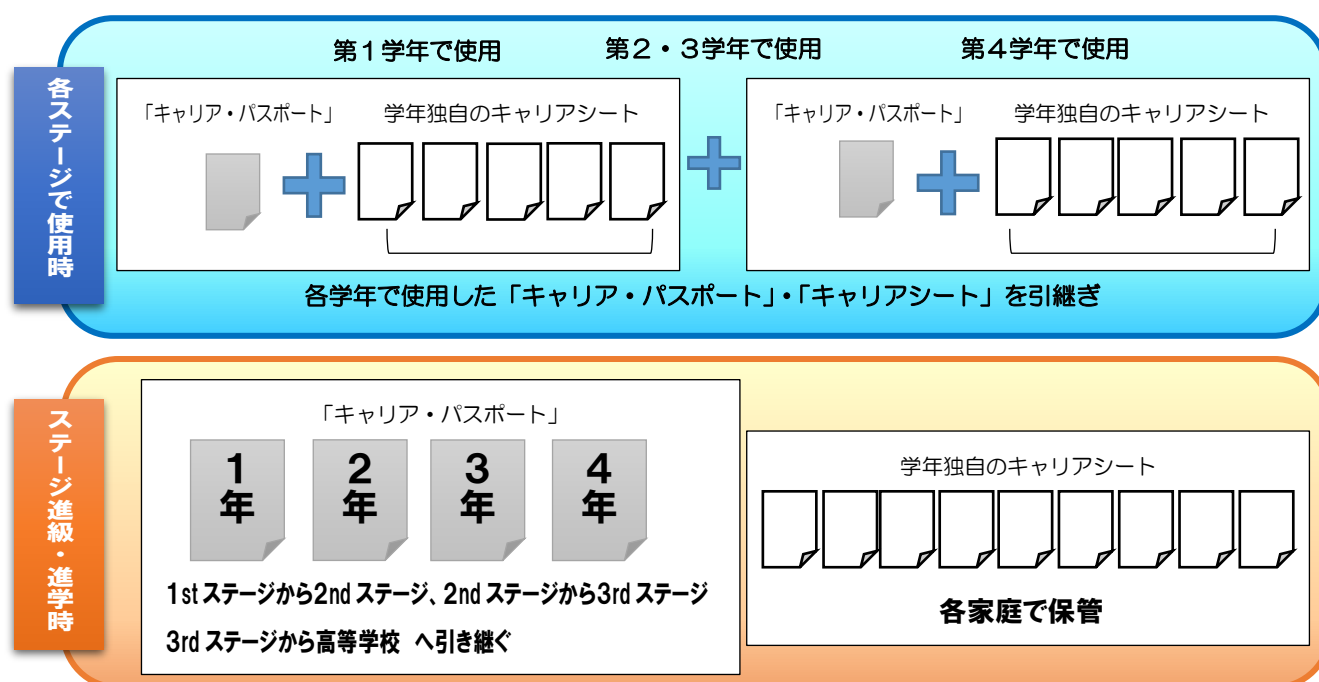
学習指導要領では、「キャリア・パスポート」の定義として、「児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。」としています。

砂川市では、令和2年度から市内全校において、日常のワークシートや学校行事の記録、学習の振り返り等をポートフォリオとして蓄積した独自のキャリアシートを作成し、学年や校種を越えて引き継がれてきました。一方で、各学校でのキャリアシートの内容が充実することに伴い、ファイル自体が厚くなり、引き継ぐ形式としては難しいということや、現在は各学校が設定しているキャリアシートを、義務教育学校開校に合わせて統一する必要があることなどが課題として見られました。そこで、現在のキャリアシートはステージ内で引き継ぐものとして活用し、1stステージ（1～4年生）、2ndステージ（5～7年生）、3rdステージ（8・9年生）、高等学校へと引き継ぐものとして、新たに統一した砂川版「キャリア・パスポート」を作成しました。

砂川版「キャリア・パスポート」（以下、「キャリア・パスポート」という。）は各学年A4サイズ2枚分（両面1枚）です。ステージ内の進級に当たっては、各学年のキャリアシートに合わせて各学年の「キャリア・パスポート」を活用し、それらを引き継ぎます。さらに、1stステージから2ndステージ、2ndステージから3rdステージ、3rdステージから高等学校という、ステージや校種を越えて引き継ぐ際には、「キャリア・パスポート」のみを引き継ぐこととします。その際、キャリアシートは各個人で保管します。

キャリア・パスポートは、その時々のお子様の思いや考えが綴られた「大人に向けた成長の足跡」です。節目ごとに、お子様が家庭に持ち帰り、コメントの記入をお願いすることになりますので、お子様の書いたことをお読みいただき、成長を応援する言葉がけをしていただけますと幸いです。

《キャリア・パスポートの活用方法》



砂川版「キャリア・パスポート」について

Q1 「キャリア・パスポート」にはどんな良さがあるの？

「キャリア・パスポート」を用いて、学年間や校種間をつなぐことで、子供やお家の方にとって次のような良さがあります。

子供にとって

過去に自分が書いたことを読み返したり、振り返ることで新たな学習活動への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりできます。

保護者にとって

「キャリア・パスポート」をつなぐことにより、どのような学習過程をたどってきたか、そこでどのように成長してきたかが把握でき、体系的・系統的なキャリア教育につながります。

Q2 「キャリア・パスポート」はいつ使うの？

どの学年も、年度はじめ（4月）、年度の折り返し（10月頃）、年度末（3月頃）に記入できる構成になっています（第1学年を除く）。学校では、学級活動の時間などで、キャリアシートを用いて振り返りをしたり、新たな目標を立てたりする際に活用します。

学校で記入後、節目にお家に持ち帰り、お家の方にコメントを寄せていただきます。お家でコメントを記入したら、再び学校に持ってきていただき、ファイリングします。

「お家の人から」の欄にコメントを書く際には

キャリア教育の視点から、一人一人の次のステップにつながるよう後押しする内容にすることが大切です。

※子供たちが書いた内容について、これまでの「キャリア・パスポート」等の内容や、普段の様子、お子様の個性に応じたコメントをするようにします。

〈例〉1年間の振り返りで、運動会での徒競走のことに触れ、

「全力で走って、1位になれたことがうれしかった。」と書いていても・・・

引込み思案で運動が苦手と言っていたが、徒競走のとき、息を切らしつつも精一杯走り切ることができた子供には…

お母さんもうれしいです。本当によい経験ができましたね。徒競走のとき、あきらめずに一生懸命に挑戦する姿が素敵でした。この経験をこれからも生活にいかそうね！



普段から活発に遊び、体を動かすことが好きで、走り終わったあと、友達に対して積極的に応援する姿が見られた子供には…

1等賞、おめでとう。自分自身のがんばりはもちろんのこと、●●がクラスのお友達に大きな声で「がんばれー」と応援していたところが、かっこよかったよ。これからも人を元気にする経験を重ねてほしいです。



1 ねんせい

() くみ なまえ: ()

かいたひ: ねん がつ にち

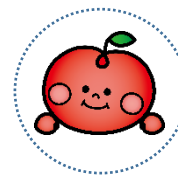
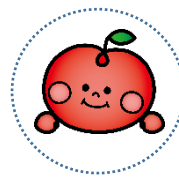
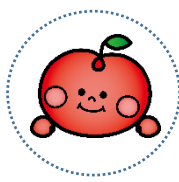
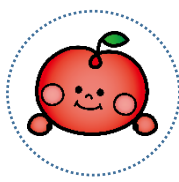
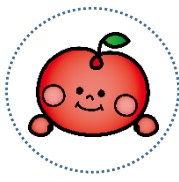
- 1 1 ねんの はんぶんが おわって
がくしゅうや せいかつで がんばったぶんだけ O を つけましょう。

**がんばったな、と おもう かずだけ
まわりの O を かこんでね!**



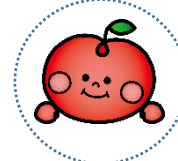
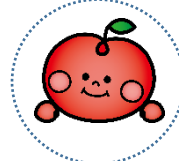
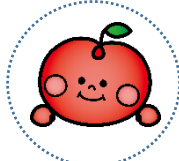
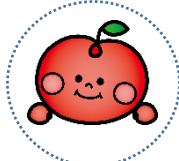
(がくしゅう)

©砂川市みまもりんご



(せいかつ)

©砂川市みまもりんご



がくしゅうで がんばったこと

せいかつで がんばったこと

これから ちょうせんしたいこと

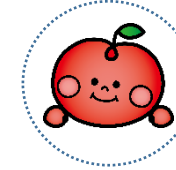
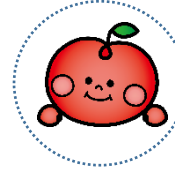
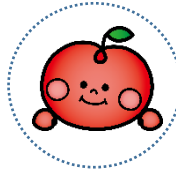
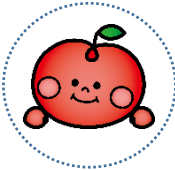
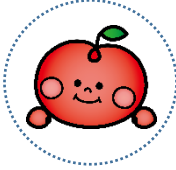
Blank area for writing future goals, with a dashed line for a title and two solid lines for the content.

せんせいや おうちのひとから

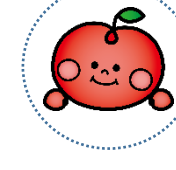
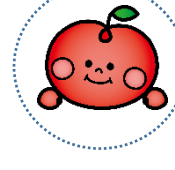
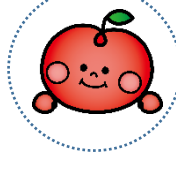
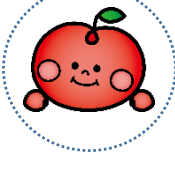
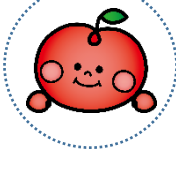
かいた日： 年 月 日

2 1年かんを ふりかえって

(がくしゅう) ©砂川市みまもりんご



(せいかつ) ©砂川市みまもりんご



がくしゅうで がんばったこと

せいかつで がんばったこと

3 この1年かんで うれしかったことや たのしかったこと

4 こんな 2年生に なりたいな

せんせいから

おうちのひとから

2年生

() くみ なまえ

かいた日： 年 月 日

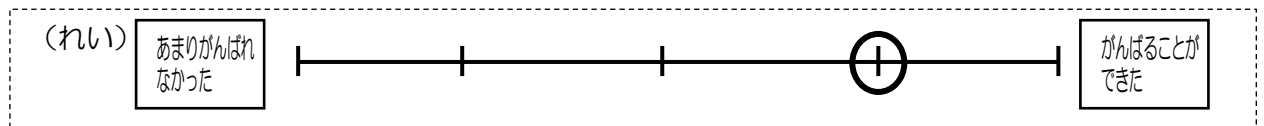
1 2年生になったいまの気持ちやがんばりたいこと

[illegible]

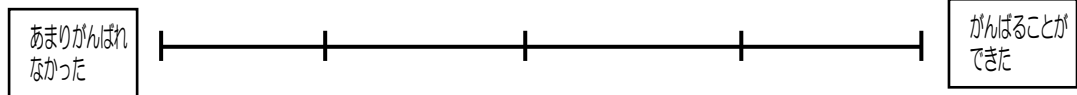
2 1年のはんぶんがおわって
日

かいた日： 年 月

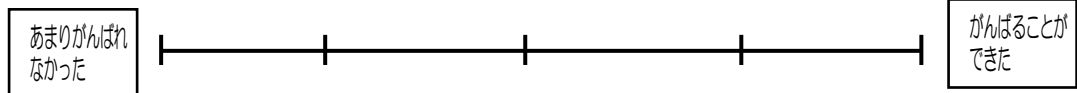
目ひょうがどのくらいがんばることができましたか。



(学しゅう)



(生かつ)



とくにがんばったこと

これからちょうせんしたいこと

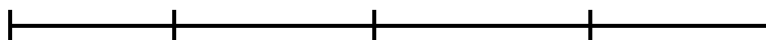
先生やおうちのひとから

かいた日： 年 月 日

3 1年かんを ふりかえって

(学しゅう)

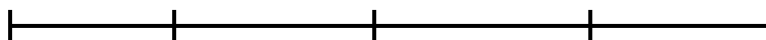
あまりがんばれ
なかった



がんばることが
できた

(生かつ)

あまりがんばれ
なかった



がんばることが
できた

とくにがんばったこと

4 この1年かでうれしかったこと

Blank area for writing about happy events during the year, with horizontal dashed lines for writing.

5 こんな3年生になりたい

Blank area for writing about what they want to be like in 3rd grade, with horizontal dashed lines for writing.

先生から

おうちのひとから

3年生

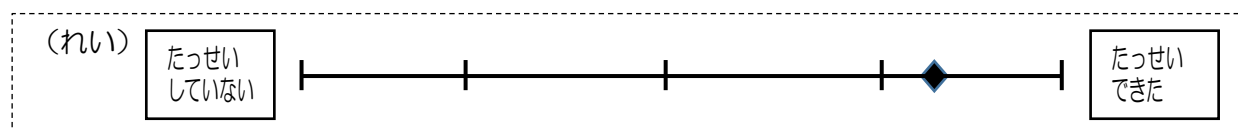
() 組 名前 ()

書いた日： 年 月 日

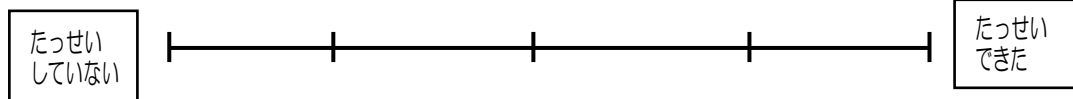
- 1 3年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

[illegible]

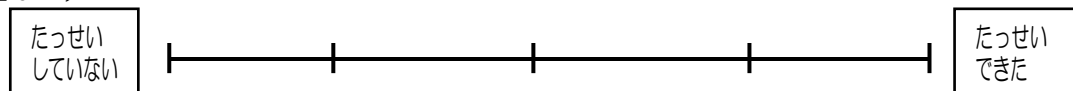
- 2 1年の半分がおわって 書いた日： 年 月 日
目ひょうがどのくらいたっせいできましたか。



(学しゅう)



(生かつ)



とくにがんばったこと

これからちょうせんしたいこと

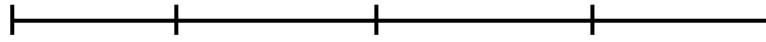
先生やお家の人から

書いた日： 年 月 日

3 1年かんを ふりかえって

(がくしゅう)

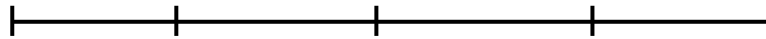
たっせい
していない



たっせい
できた

(せいかつ)

たっせい
していない



たっせい
できた

とくにがんばったこと

4 自ぜんや生きもの、命などについて、体けんして考えたこと

5 こんな4年生になりたい

先生から

お家の人から

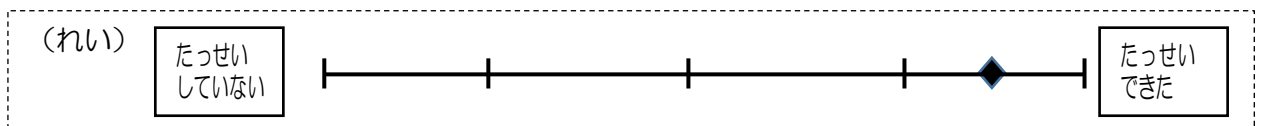
4年生

() 組 名前 ()

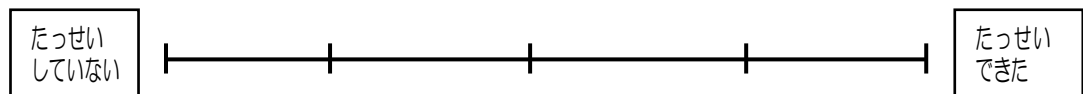
記入日： 年 月 日

- 1 4年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

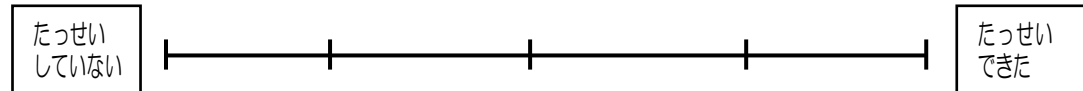
- 2 1年の半分が終わって 記入日： 年 月 日
目ひょうがどのくらいたっせいできましたか。



(学習)



(生活)



とくになんがったこと

これからちょうせんしたいこと

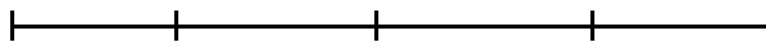
先生やお家の人から

記入日： 年 月 日

3 1年間を 振り返って

(学習)

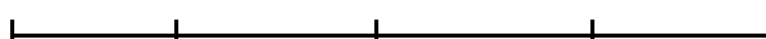
たっせい
していない



たっせい
できた

(生活)

たっせい
していない



たっせい
できた

とくにがんばったこと

4 10才のふし目をむかえて

今、む中になっていることや好きなこと

しょう来のゆめ (こんな大人になりたい) や目ひょう

今がんばっていること

5 こんな5年生になりたい

先生から

お家の人から

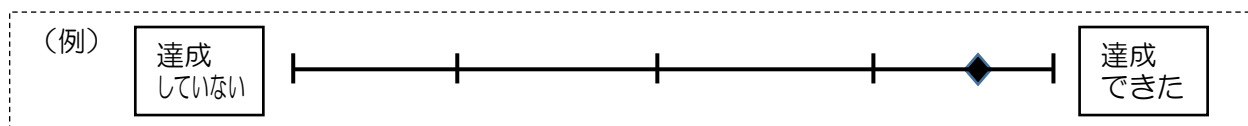
5年生

() 組 名前 ()

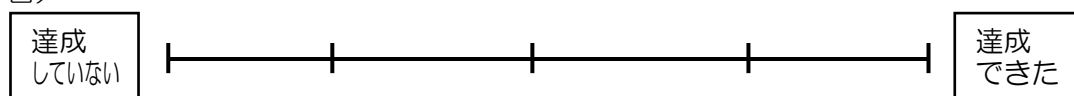
記入日: 年 月 日

- 1 5年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

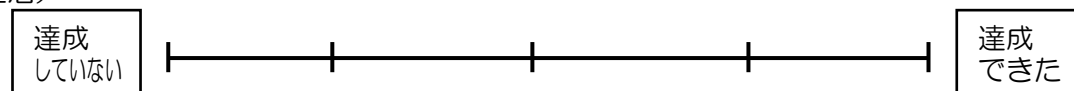
- 2 1年の半分が終わって 記入日: 年 月 日
目標がどのくらい達成できましたか。



(学習)



(生活)



特に熱心に取り組んだこと

これからちょう戦したいこと

先生やお家の人から

記入日： 年 月 日

3 高学年としての1年間をふり返って

(学習)

達成 していない	----- ----- ----- -----	達成 できた
-------------	-------------------------	-----------

(生活)

達成 していない	----- ----- ----- -----	達成 できた
-------------	-------------------------	-----------

特に熱心に取り組んだこと

4 宿泊学習をふり返って

成長できたと思うこと

きっかけとなったできごと

5 こんな6年生になりたい

先生から

お家の人から

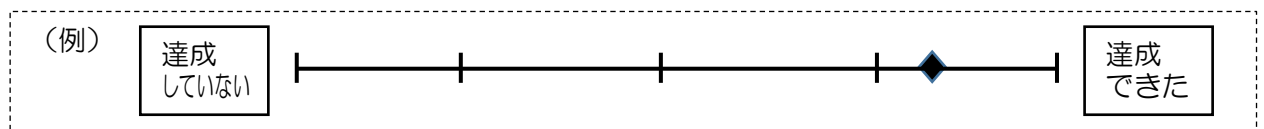
6年生

() 組 名前 ()

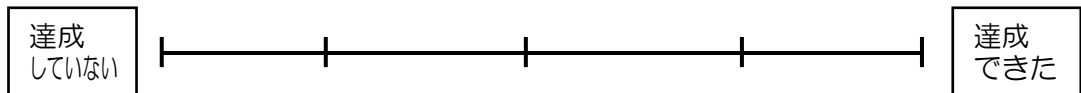
記入日： 年 月 日

- 1 6年生になった今の気持ちやがんばりたいこと

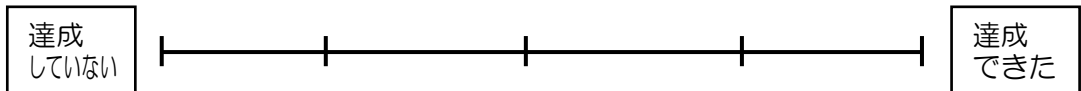
- 2 1年の半分が終わって 記入日： 年 月 日
目標がどのくらい達成できましたか。



(学習)



(生活)



特に熱心に取り組んだこと

これからちょう戦したいこと

先生やお家の人から

記入日： 年 月 日

3 前期課程最後の1年間を振り返って

(学習)

達成 していない	┌──────────┴──────────┬──────────┬──────────┬──────────┐	達成 できた
-------------	--	-----------

(生活)

達成 していない	┌──────────┴──────────┬──────────┬──────────┬──────────┐	達成 できた
-------------	--	-----------

特に熱心に取り組んだこと

4 前期課程の生活を振り返って

一番印象に残っている出来事とその理由
成長したと感じたことやそのきっかけ

5 後期課程（7年生）に向けた今の気持ち（楽しみなこと、不安なことなど）

--

6 将来の夢（こんな大人になりたい）やしてみたい仕事

--

先生から

お家の人から

7年生

() 組 名前 ()

- 1 後期課程になった今の気持ち 記入日： 年 月 日

--

- 2 将来の夢や目標に向かって、身に付けたい力とその理由

こんな大人になりたい(将来の夢や目標)	そのために身に付けたい力
そう思った理由やきっかけ	

- 3 なりたい自分になるためのそれぞれの目標とそのためにかかること

(学習面の目標)	すること
(生活面の目標)	すること
(家や地域、その他習い事等)	すること

- 4 1年の半分を振り返り、今後、挑戦・行動しようと思うこと 記入日： 年 月 日

(学習面)	今後
(生活面)	今後
(家や地域、その他習い事等)	今後
先生やお家の人などから	

記入日： 年 月 日

5 目標の達成状況（1年間を振り返って）

（学習面） 〔達成度： %〕	理由
（生活面） 〔達成度： %〕	理由

（家や地域，その他習い事等）理由 〔達成度： %〕

6 6年生だった自分へ

--

7 8年生に向けて

--

先生から	お家の人などから
------	----------

8年生

() 組 名前 ()

- 1 8年生になった今の気持ち 記入日： 年 月 日

- 2 になりたい自分になるためのそれぞれの目標とそのためにすること

(学習面の目標)	すること
	
(生活面の目標)	すること
	
(家や地域、その他習い事等)	すること
	

記入日： 年 月 日

- 3 1年の半分以上を振り返り、今後、挑戦・行動しようと思うこと

(学習面)	今後
	
(生活面)	今後
	
(家や地域、その他習い事等)	今後
	
先生やお家の人などから	

記入日： 年 月 日

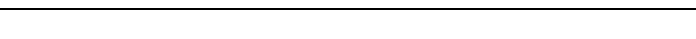
- 4 目標の達成状況(1年間を振り返って)

(学習面)	理由
〔達成度： %〕	
(生活面)	理由
〔達成度： %〕	

(家や地域、その他習い事等) 理由
 〔達成度： %〕

- 5 職場体験で学んだことが、今の自分に影響していること
 (職場体験後の学習面、生活面での変化や人との接し方、将来への考え方など)

- 6 「A」「B」どちらに賛成しますか？
 今の自分の気持ちに近いところに、印を付けましょう

A	A に賛成 ←————→ B に賛成	B
例		
将来のことは高校に入ってから考える		今から将来のことを考えている
自分で人生を切り拓いていきたい		人に言われるがままの人生でかまわない
勉強するのは高校入試のためだ		高校入試は通過点。勉強するのはその先の将来のためだ
一度決めた将来の夢は何があっても変わらない		将来の夢はこれから変わるかもしれない
中学校卒業後の進路が思い通りにならなかったら、自分の夢をあきらめる		卒業後の進路が思い通りにならなかったとしても努力を重ねて夢に近づきたい

先生から

お家の人などから

9年生

() 組 名前 ()

- 1 9年生になった今の気持ち 記入日： 年 月 日

- 2 になりたい自分になるためのそれぞれの目標とそのためにすること

(学習面の目標)	すること
	
(生活面の目標)	すること
	

(家や地域、その他習い事等)	すること
	

記入日： 年 月 日

- 3 1年の半分を振り返り、今後、挑戦・行動しようと思うこと

(学習面)	今後
	
(生活面)	今後
	

(家や地域、その他習い事等)	今後
	

先生やお家の人などから

記入日： 年 月 日

- 4 目標の達成状況(1年間を振り返って)

(学習面)		理由	
〔達成度： %〕			
(生活面)		理由	
〔達成度： %〕			

(家や地域, その他習い事等) 理由
 〔達成度: %〕

5 これまでの約 15 年間で、自分の成長を実感したきっかけのベスト 3



いつ	きっかけ	成長した内容

6 高校生活等の4月からの進路に向けた今の気持ち（楽しみなこと、不安なこと）

7 30 才の自分へのメッセージ（将来の夢や目標、仕事などを想像して）

先生から

お家の人などから